

矢作川河畔林整備行動計画全体発表会が開催されました。

矢作川河畔林整備事業ワークショップも3回を終え、発表会を開催しました。矢作川沿川7自治区の関係者が一堂に会し、計3回に亘る皆様の河畔林への想いや、話合った計画を、各自治区ごとに発表して頂きました。とても充実した発表、意見交換をして頂き、ありがとうございました。

矢作川河畔林整備事業

がわせみ

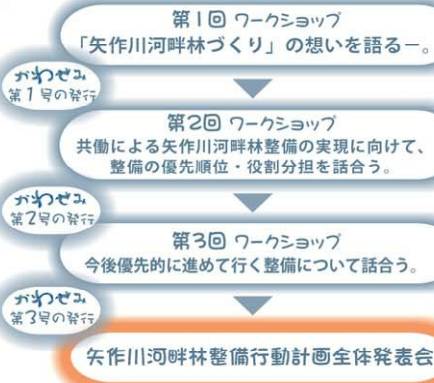


第4号

平成20年5月1日
豊田市 建設部 河川課

発表会が開催されました！

1 経緯



2 発表



- 小渡自治区 「川に親しめる風景にしたい」
- 浅野自治区 「矢作川を眺めることが出来るように」
- 笹戸自治区 「来訪者が走りながら 観て美しい風景にしよう」
- 矢作自治区 「既存広場を再活用し、 対岸と連携して整備したい」
- 御蔵自治区 「御蔵自治区のエントランスを美しく」
- 下川口自治区 「川辺を周遊し、 川に親しめる環境を創りたい」
- 大河原自治区 「安全な暮らしを考えた環境を創りたい」

※発表内容は裏面になります

3 意見交換会



対岸自治区との連携について

【代表して3自治区にお話を伺いました。】

笹戸自治区

笹戸自治区だけで取り組んでいくことにはいろいろな問題があるので、矢作自治区さんと話を進めながら取り組んでいきたいです。

お互い対岸しか見えず、対岸に対して意見があると思うので、話し合っていきたいと思っています。

御蔵自治区

まず自分たちが住んでいる近くを整備しようという考えが第一だが、すでに伐採されている箇所も放置するのではなく、管理していくことが必要だと思います。そこで行政の指導をお願いしたいです。

豊田市

見る側、見られる側、お互いが意識し合っている整備が重要だと思います。人手不足、高齢化。今後、行政の課題として支援策について考えていきたいと思っています。

役割分担の今後について

大河原自治区

各自治区の皆さんは自分の住んでいるところは自分でやろうという気構えで取り組んでいます。土地はその地区にあります。全体のものだと思われ、管理等についても確実な行政の力をお借りしたいです。最大限の努力はしますので、住民が手に負えないことは行政にお願いしたい。

豊田市

すべて行政という話になりますとなかなか難しいです。かといって地元だけというのも難しい話ですので、役割分担が一番の課題だと思います。人手の問題、高齢化の問題もあるので、そういうことを踏まえた仕組みづくりを行政で考えていきたいです。

関連機関からの意見

【整備計画の推進を図る上で、関係者の皆様にご意見を頂きました。】

矢作川漁業協同組合

以前、下流でも整備を行った結果、トイレや駐車場など、スポット的に整備した所は成功しましたが、長い散歩道つくるなどの計画は、後の整備が難しくなり、やめてしまおうということがあります。下流のほうは二次整備を始めていますが、住民で整備を行う場合は、まずスポット整備がよいと考えます。

矢作川研究所

かえてと桜がいろいろ取りざたされていますが、まずはそこに住んでいる生き物をよく知ることが大切だと考えています。人とまわりの生き物とが、どのようにこれから付き合っていくといいか。大切なもの・守っていくかなければならないもの・残したいものが何か。川を楽しむということ、川を守っていくための役割分担がキーポイントになると考えています。

今後の整備に向けての提案や想い

小渡自治区

漁協組合さんはスポット整備がよいと言われましたが、豊田市を流れる母なる矢作川は下流から上流まで一体であるため、スポット整備をつなげ拡大し、下流から上流まで一体となった川見街道にしていきたいです。

豊田市

川見街道ということで、矢作川沿川一体が思いを一つにし、一体感を高めることで、さらにすばらしい整備につながると思います。行政としては、今後も情報提供を行っていきなすので、他の自治区の整備も意識しながら整備を進めていただくと、更に一体感が高まるのではないかと思います。



矢作川河畔林整備行動計画全体発表会 各自治区の行動計画発表

各自治区の代表者様から計画について発表していただき、その後、意見交換会を行っていただきました。



「矢作川を眺めることが出来るように」 【浅野自治区：寿橋付近～大砂の河畔林間伐・伐採】

- 急峻な箇所では、管理していくことも住民には難しい。
- 対岸から見えにくい伐採は作業道へのこみ捨てが心配となる。
- 竹が密集している傾斜地では、地盤沈下を考慮した伐採方法が必要ではないか。



「既存広場を再活用し、対岸と連携して整備」 【矢作自治区：笹戸橋下流の既存広場再整備と間伐・伐採】

- 対岸の笹戸自治区さんと協議し、計画を立てて整備したい。
- 人手不足のため住民だけで管理していくのは難しい。
- ボランティアへの声かけ等は行政にお願いしたい。



「川辺を周遊し、川に親しめる環境を創りたい」 【下川口自治区：日沢橋下流の河畔林間伐・伐採と散策道】

- 対岸と交流して整備を進めることが必要。
- 河畔林は伐採するだけでなく、生物（鳥・魚）のための環境を確保することが大切ではないか。



「安全なくらしを考えた環境を創りたい」 【大河原自治区：大河原川沿いの河畔林間伐・伐採と散策道整備】

- ボランティアなどによる伐採や管理が必要だが、住民が環境美化について取り組める体制を作ることが大切なのではないか。
- できることは地域で行い、行政と共に整備を進めていきたい。



「川に親しめる風景にしたい」 【小渡自治区：笹戸ダム下流の間伐・伐採と散策道】

- 美しい河川風景のイメージを持てるよう、他所への見学会などを行ってはどうか。
- 現状では人手不足のため、自治区内では整備・管理が難しい。
- 出来る所から進めていきたいという思いがある。



「来訪者が走りながら観て美しい風景にしよう」 【笹戸自治区：有平橋下流、百月ダム上流～カヌー場】

- 必要に応じて修繕資材の支給を願う。
- 急斜面地では、管理面も住民では難しい。
- 高齢化のためケガのないようにしたい。
- できることは住民で、できないことは行政のほうにお願いしたい。



「御蔵自治区のエントランスを美しく」 【御蔵自治区：加茂橋周辺の河畔林間伐・伐採】

- 管理面では、一時的でなく、継続的な管理とする支援制度が必要。
- 自治区内の矢作川沿いの住民だけでなく、広く住民に河畔林整備について理解を深めて欲しい。



お知らせ

今年度（平成20年度）より、2箇所程度の現場を手がけていく予定です。

着手する現場の選定につきましては、今後関係機関と協議をさせていただき、6月頃には、自治区長さんの方へご相談させていただきます。よろしく申し上げます。

お問い合わせ

矢作川河畔林整備事業についてのご意見、ご感想等お気軽にご連絡ください。

豊田市 建設部 河川課（計画担当：早川、花田）

でんわ：0565-34-6672

FAX：0565-33-2460

